



3 防除方法

- (1) ほ場の見回りをこまめに行い、卵塊や分散前の幼虫は、見つけしだい葉ごと取り除く。
- (2) 老齢幼虫になると薬剤の感受性は大幅に低下するので、中齢幼虫までに薬剤を施用する。
- (3) 同一系統薬剤の連用を避ける(表1, 2, 3)。

主な登録薬剤

表1 ねぎ

薬剤名	系統(IRAC)	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
グレース乳剤	メタジアミド・ イソキサゾリン系 (30)	2,000~3,000 倍	収穫7日前まで	2回以内
ベネビアOD	ジアミド系 (28)	2,000 倍	収穫前日まで	3回以内
アフーム乳剤	アベルメクチン・ ミルベマイシン系(6)	1,000~2,000 倍	収穫7日前まで	3回以内
ディアナ SC	スピノシン系 (5)	2,500~5,000 倍	収穫前日まで	2回以内
コテツフロアブル	ピロール (13)	2,000 倍	収穫7日前まで	2回以内

表2 野菜類

薬剤名	系統(IRAC)	適用作物名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
ゼンターリ顆粒水和剤	BT (11A)	野菜類 (はくさいを除く)	1,000 倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	—
デルフィン顆粒水和剤	BT (11A)	野菜類	1,000 倍	発生初期 但し、 収穫前日まで	—

表3 花き類・観葉植物

薬剤名	系統(IRAC)	適用作物名	適用害虫名	希釈倍数	本剤の使用回数
コテツフロアブル	ピロール (13)	花き類・観葉植物	ヨトウムシ類	2,000 倍	2回以内
アフーム乳剤	アベルメクチン・ ミルベマイシン系(6)	花き類・観葉植物	ヨトウムシ類	1,000 倍	5回以内
ノーモルト乳剤	ベンゾイル尿素系 (IGR脱皮阻害)(15)	花き類・観葉植物	ヨトウムシ類	2,000 倍	2回以内
ロムダンフロアブル	ジアシル・ヒドラジン系 (IGR脱皮促進)(18)	花き類・観葉植物	シロイチモジヨトウ	1,000 倍	5回以内

●Web 版大阪府病害虫防除指針 (<http://www.jpnpn.ne.jp/osaka/>)

●農林水産消費安全技術センター 農薬登録情報提供システム (http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)